

オムロン株式会社
平成 24 年(2012 年)3 月期 第1四半期決算
投資家様向け説明会 質疑応答
(2011 年 7 月 27 日、東京)

Q: 足元の受注状況を教えて欲しい

A: IABのBBレシオは6月:国内0.87、輸出0.99、合計0.91。トレンドとしては、3月・4月は震災影響で前倒し発注などにより異常な推移だったが、5月、6月は少し正常にもどってきており一時的な調整だと考えている。

Q: EMCの収益性が1Qで前年度4Qから上がっているのはなぜか？

A: 堅調なIAB向け商品で内部売上分が利益に貢献している。

Q: IABの2Q以降収益性が下がる計画だが、その要因は？

A: 下期全体では昨年度よりも利益率が大きく改善する。震災の影響もあり一部に価格の高い部品も購入しており、2Q以降で影響が出てくると想定している。

Q: 中国、欧州では2Q以降、減速を見込んでいるが、その理由は？

A: 中国は金融引締の影響で代理店が少し影響を受けており、在庫調整があると見ている。欧州も景気の不安感を反映している。

Q: 中華圏の2Q売上において、EMCは1Qから横ばいだがIABが1Qから低下する理由は？

A: IABは金融引締の影響で代理店が在庫調整するが、EMCは直接販売なのでIABのような調整はない。いずれにせよ、両部門とも前年比では2Qで売上増を見込んでいる。

Q: HCBは四半期の推移を見ても利益が弱いのはなぜか？

A: 国内が年間を通じて震災の影響もあり、弱い推移となっている。そのためマイナスの影響が出ている。

Q: 新興国の売上拡大で、地域別の成長率イメージは？

A: 2010年度の約1600億円のうち中華圏が1000億円程度で残りがその他。2013年度にかけては中華圏が約20%の成長で、その他の地域も同じくらいを想定している。

Q: 「その他」セグメントの事業別内訳は？

A: 1Q実績(第三者売上ベース)で「環境:8億円」、「OPT:86億円」、「MD:6億円」、「電子:23億円」。

Q: 「環境」のビジネスで売上減となっている要因は？

A: 一部の製品で震災の影響があり、一時的に生産停止をしたため。

Q:IABのBBLレシオで6月が下がっているようだが、受注の状況は今後どうなるのか？

A:7月の状況は、まだ正確に言えないが、6月に近いものと思われる。ただし、進行中の顧客との商談状況はポジティブで今後は持ち直すと見ている。

Q:震災の影響は？

A:年間で全社売上高20億円、営業利益50億円のマイナス影響。6月時点の見通しよりも改善している。1Qでは売上高で25億円のマイナス影響が出ている。

Q:SSBは収益体質が改善しているイメージだが、2011年度は売上減で利益も落ちるのか？

A:売上減による影響は大きい。来年度以降のICカード統一化PJの関連(更新需要のずれ込み)もあり今年は弱い。来年度以降の回復を期待している。

Q:IABの国内売上の見通しを下げた理由は？

A:2Qでの一時的な調整を見ている。

Q:中期計画にあるオートメーション事業の拡大で、キーとなるPLCのシェアはどの程度伸ばすのか？

A:日本でのシェアは20~25%程度。中国を含む新興国中心に伸ばしていきたいと考えている。

Q:1Qの実績は内部計画に対してどの程度だったか？

A:内部計画は公表していないので、コメントは控えさせていただきます。

Q:2Q見通しで粗利率が改善する理由は？

A:EMCが改善する。国内、特にアミューズメント業界の回復などによる。

Q:IABの下期に回復する業界はどのようなところか？

A:一番もどってくるのは自動車業界。震災の復旧で大きな回復を見ている。

Q:中国でのユーザー比率は？

A:80年代からビジネスを行っており、ローカル企業に強いことが特長。ユーザーの比率は日本とほぼ同じで自動車業界が1割程度、電機関連が2~3割程度